

現重役は如何なる人物か

現社長上大崎町三三四に住居する加藤梅吉君は元神田町の砂糖屋の小僧として居たが其が主家の滅亡と共に風名敷包をかへて路途に迷ひ居たを若淵氏妻女が不便に思ひ拾ひあげ工場小使として使つてゐたが其が若淵氏死後息子清一氏が弱年なりを奇禍に罹りて麻痺を理由に付けて會社組織として主家の財産を自分の所有とし自ら社長となり然し其の間言ひに言ひぬる愚手段を弄し故に神たる清一氏母堂を授け浮日に迄突々落しぬと言ふも實に人面獸心鬼が然る人としてなし得べからざる極悪無道な行為を以て來た人物であります

更に上山武吉重役は池袋町六八四に住居する成るが之又加藤と大同小異にて彼の前身は當工場倉庫人足で月給拾七圓にて俵擔をせめて居たが其が生活に窮し鬼の心鬼の心に従業員諸君が(現手議團員)同情して毎月一人一圓を出し合せて四五圓を破れ鬼んで居た位でありませぬ然るに生れつき狡猾なる賤人の常として持前の詭策と偽謀とを悪手段を縦横に振り廻し加藤等一味になり吾々従業員血を吸ひ骨を噓つて今日に及んだ者で實に暴逆無道の吸血鬼と言つて過言ではないのであります

次に神瀬唯と言ふ重役は現在大森町新宿一三九四に住んで居るものであります又他の悪重役の上前を別ねんとする大膽不敵の大陰謀家でありませぬ即ち先代の息子清一氏が所有となつてゐた五千株を金原銀行山田某が僅かの金で欺騙して詐取した事が山田の死後同銀行に務めて其の事情を知れる處から山田の死後同銀行に詐取したかき明瞭にあらわす其の

権利を握つた抑強か一發重役の席に連るや他の重役の兇事を知れること、其の弱點を押へ會社の全権を己が自由に假せんとする大野心家にて其のめには眼中に社原なく労働階級なく下流泥棒が盗み出したる常道として選利をなさんとするか如き事々やつてゐるのしあります以上は三三の例に過ぎず會社の重役は何れも美を以て集つてゐるのひありありて人非人的り為と尋ねれば限りかありませんか、現重役等の内にも主人格たる岩淵清一氏は川口東京製子工場職工として彼等大踏便され其の子徳太郎氏は優良新製社の食堂にてボレーイとして生活してゐる有様で彼等のみか愛一又から故に上げられ対大御所及全津川口等々大工場と有し其の重役等と大きな款をして居るとは全く大盜賊の巢窟の如き有様であります

今回の争議の起因

斯る有様にて従業員に對する酷使は詔の外でありますか自學して來たのである否の事ありませぬ然し不振に名をかりて従業員其の名に解雇を言渡し私共か四日間に渉る程かなる嘆歎を拒絶するのみか職工の辭に抗議すると日生意氣おと全交解散するの暴挙は出でたつてある 茲に於て此れよく要求書を提出したつてあります

我等の決意

以上の理由で普通の會社と自違ひ一厘の資本も救せず我々従業員汗と油によつて